

1. 総評

(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

○成果…教員・児童、地域・保護者による毎朝の挨拶運動や心の授業、異学年交流活動を充実させ、思いやりの心の育成を進めた。「竹小き聞く掃そ除じゆ挨拶あ時間じを守る」の標語の徹底を働きかけた結果、児童の意識が高まってきた。体験的授業では、学年の発達段階に応じて外部講師による指導を取り入れ、多様な立場や考えを理解する児童の育成に努めた。

○課題…学力では、2科平均で4.6ポイント目標通過率に達することができなかった。個人や学年での課題を明確にし、指導を強化する。体力向上（特に投力）の活動の充実や体育学習の指導力向上を図る。特色ある教育活動を異学年交流と体験的授業に重点をおき、自己肯定感を高める教育活動を進めていく。

(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要**重点的な取組事項－1 学力向上（基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上）**

学力調査等の分析により学力定着状況を把握し、すべての学年で目標通過率78%を超える。つまずきの解消のための授業改善、パワーアップタイム・竹小タイム・放課後学習の実施及びそだち指導員による個別指導を実施する。小中連携校による授業研究・校内研究、さらに学力定着指導員の指導により授業力を高める。

重点的な取組事項－2 思いやりの心の育成と体力の向上

標語「竹小き聞く掃そ除じゆ挨拶あ時間じを守る」を徹底する。異学年交流や体験的活動を重視し、自己肯定感がもてる授業を展開し、いじめのない居心地のよい学校づくりを目指す。年間を通して、朝の挨拶運動を実施する。毎週木曜日にマッスルタイムを業間休憩時に実施したり、長縄運動や投力向上に取り組んだりして体力の向上を図る。

重点的な取組事項－3 特色ある教育活動の実施

言語能力向上のために弁論大会とそれに向けた取組を全校で実施する。体験的授業を重視し、自己肯定感や主体性を育てる。自国文化理解授業を実施し、多様な立場や考えを理解し、尊重する心を育てる。地域の行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を促す。

(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性**重点的な取組事項－1 学力向上（基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上）**

前年度より国語算数ともに学力調査の通過率が低下した。特に国語では言語領域に課題が見られたので、9月から短作文指導や言語領域の指導の充実を図った。東京ベーシックドリルやミニテスト等を適時活用し、学力水準の把握と向上を目指した。次年度も引き続き、課題を明らかにして補充教室等を実施しながら学力向上を推進する。小中連携では、小学校3校がお互いに授業参観を実施し、活発な話し合いができた。若手研修は新学習指導要領の改訂ポイントを全教員で研修する内容に変更し、研修意欲が高まった。

重点的な取組事項－2 思いやりの心の育成と体力の向上

集団生活の基本的習慣の徹底を図るため、「竹小きそあじ」の標語を児童へ浸透させた。児童・保護者共に90%以上の定着と評価している。次年度は家庭学習や身だしなみも合い言葉にし、保護者に啓発していく。異学年交流や幼稚園・保育園との交流を通して思いやりの心と自己肯定感の育成を図った。自己肯定感がもてていない児童に対してはよりきめの細かい支援をしていく。体力調査で投力が課題になったので、体育の学習内容や投力向上の取組の工夫をした。投力調査(2年4年：2回目)は投げ方も飛ぶ距離も改善できた。

重点的な取組事項－3 特色のある教育活動の実施

弁論大会は高学年で実施したが、課題や内容に幅を持たせ、児童の実態により合わせる事ができた。オリンピック・パラリンピック教育でスポーツ教室を取り入れ、シッティングバレー（6年）やフットサル（5年）、ブラインドサッカー（4年）等の体験的授業ができた。地域の行事に関しても積極的に参加することができた。今後も発達段階に応じて体験的な学習を推進する

(4) 保護者や地域へのメッセージ

竹の塚小学校は、今年度創立51周年を迎えました。学校はおよそ半世紀にわたる歴史を通して、保護者・地域の皆様から熱い支援を受けながら、教育活動を進めてきました。今年度も「平成」から新しい時代に向けて、子どもたちの健全育成を目指し、教育活動を実施することができました。

学校のスローガンを「みんなの竹の塚小学校」とし、安心できる学校・信頼される学校を目指して教職員一同努力しております。学習に関しては、児童が「わかる・できる楽しさ」を味わい、意欲的に取り組める授業を実践してきました。次年度に向けても日常の授業改善、パワーアップタイム、竹小タイム等で個に応じた指導の充実を目指します。学習とともに重視しているのが、心の教育です。「みんなの竹の塚小学校」は

誰にとっても「居心地のよい学校」でありたいと思っています。笑顔であいさつする、友達のよさを認める、自分のよさがわかる、いじめや差別はしない等学習や休み時間、学校生活全体を通して取り組んでいます。特に体験的授業や異学年交流を重視し、他者理解・思いやり・自立・忍耐・責任感等の資質の育成を図り、自己肯定感や主体性を高められるようにしています。

地域や保護者の皆様には、本校に対する熱い思いと惜しめない協力があります。竹の塚小学校の伝統を大切にしながら、児童一人一人に「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域の三者が一体となって教育を進めてまいります。これまで同様、本校の教育活動にご支援とご協力をお願いいたします。

2. 平成30年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

重点的な取組事項－1 学力向上（基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上）

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学力向上（基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上）	区学力調査 通過率78%	2科平均 74.4%（国語 71.9、算数 77）	特に国語では言語領域に課題が出た。個別学習時間に習熟の徹底を図った。	△

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
別紙「平成30年度学力向上アクションプラン」評価シート参照					

重点的な取組事項－2 思いやりの心の育成と体力の向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
思いやりの心の育成と体力の向上	・基本的な生活習慣の徹底強化 ・自己肯定感アンケートで8割の肯定感 ・体力調査での課題改善、体力の向上	・基本的な生活習慣「竹小きそあじ」の徹底は91%できている。 ・自己肯定感は、64%であった。 ・体力づくりは91%の児童が取り組んでいる。	・「きそあじ」に家庭学習と身だしなみを次年度より追加する。 ・児童に自分の良さが実感できる経験をさせていく。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の徹底	・年間を通じてあいさつ運動の実施 ・「竹小 <small>きそあじ</small> 」の90%以上の定着	・毎朝児童が交代で校門でのあいさつ及びPTAによるあいさつも実施 ・月1回生活指導主任が「竹小 <small>きそあじ</small> 」の全校徹底講話 ・毎週児童朝会で「竹小 <small>きそあじ</small> 」を意識化	・「竹小きそあじ」の意識化に努め、91%の児童ができていると感じている。 ・保護者アンケートでは94%の保護者が肯定的に捉えている。	「きそあじ」に関しては指導を継続する。さらに、家庭学習と身だしなみを追加する。	◎
自己肯定感と主体性の育成	・自己肯定感アンケートを実施し、自己肯定感をもっている児童が8割	・自己肯定感を高める授業をSCを中心に担任と年2回全学級で実施 ・週1回生活指導夕会、	・自己肯定感を持っている児童は全体の64%であった。 ・たてわり班活動を充実させ、異学年の交流	児童が自分の良さを実感する経験を増やす。(学習・たてわり班・行事	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
		<ul style="list-style-type: none"> 月1回いじめ防止対策委員会で児童の状況把握 ・たてわり班活動など異学年交流の充実 ・担任同士が連携した特別支援教室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> が図れた。 ・特別支援教室の教員が担任と連携して児童の指導に関わった。 	等)	
体力を高める指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回業間運動「マッスルタイム」を実施 ・長縄チャレンジ区目標8割達成学級が6割 ・区主催スポーツ大会参加 ・持久走大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や週1回の中休み「マッスルタイム」では、体力調査で課題がある運動（投げる運動）を中心に計画的に実施 ・月1回長縄記録会を実施、区の目標8割に到達したら表彰 ・サッカー大会等朝・放課後練習を実施 ・持久走大会に向けて体育・マッスルタイムで練習時間を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育では的当てや遠投、ハンドボールなど投げる運動に関して学年の発達段階に応じて学習内容の工夫ができた。 ・持久走大会に向けて体育やマッスルタイムを活用して体力向上に努めた。 	P T A ソフトボール部と連携して投げ方教室等を実施できた。次年度も継続していく。	◎

重点的な取組事項－3 特色ある教育活動の実施

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
特色ある教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全校レベルでの「弁論大会」に向けた取組の実施 ・各学年3回以上体験的授業・取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や内容に幅を持たせて弁論大会が実施できた。 ・各学年3回以上の体験的な授業の実施ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弁論大会は指導にかかる時数に課題があり、見直ししていく。 ・オリパラ教育等で体験的な学習が実施できているので継続していく。 	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
思考力・判断力・表現力を育むため言語能力向上の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・弁論大会の実施 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・弁論大会に向けて、全学年で継続的に作文・スピーチ指導の実施 ・読書量低学年150冊高学年3千頁達成8割を全学級で達成 ・図書ボランティアによる読み語り月1回実施 ・読書貯金箱取組強化(学級文庫の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・弁論大会は身近な課題を設定したり資料の提示を効果的にしたりすることで児童の実態により沿った内容になった。 ・読書量は高学年になるにつれ達成者の割合が減少してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導時数に課題があるので国語の指導内容に応じた学習に整理していく。 ・読書に親しむことができる環境作りを充実させることを工夫する。 	△
多様な立場や考えを理解するための体験的授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実感を伴う体験的な活動を取り入れた授業の実施 ・外部講師による 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による自国文化理解授業の実施 ・放課後子ども教室との連携による折り紙教室(1年)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道教室、落語教室等外部講師による体験的な授業ができた。 また、オリパラ教育に関連した体験的な授業を実施することが 	児童にとっていいきっかけや経験につながったので、今後も継続していき、多様な立	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
	体験的授業の実施	・法教育授業（6年）の実施 ・オリンピック・パラリンピック教育に関連したスポーツ教室の実施	できた。	場や考えを理解する児童の育成に努める。	
豊かな心を育むため地域と連携した教育活動の実施	・幼保小連携事業の充実 ・地域の行事に参加	・近隣幼稚園・保育園との交流活動（読み語り・給食・遊び・行事招待等） ・アサガオ栽培コンクール、図画・書道コンクール、税に関する絵葉書コンクール、人権の花運動、炎天寺「一茶まつり」への参加 ・町会の納涼祭等に中学年児童が民舞を披露	・近隣の幼稚園や保育園との交流では、読み語りをはじめ、学年の発達段階に応じて交流活動ができた。 ・町会の納涼祭等に中学年が民舞を披露することができた。 ・夏のアサガオ栽培コンクールでは努力賞をいただいた。	・園児と交流することで児童の他を思いやる心が育っている。 ・町会の納涼祭に出て地域の方のとても喜んでいただいた。今後も継続していく。	◎

3. 学校活動全般について

竹の塚小学校は「みんなの竹の塚小学校」をスローガンとして、学力向上と心の教育を両輪にし、「居心地のよい学校」づくりに取り組んでいます。一人一人の学力向上のためには、お互い認め合い・尊重できる人間関係が土台となっていると考えています。人間関係が良好ならば、いい教育環境が生まれ、学習に集中でき、おのずと学力も高まり、更に人間関係が深まるような相乗効果が働きます。そうした場所が「居心地がよい場所＝学校」となるよう、教職員一同努力してまいります。

本校は、保護者や地域の方から愛され、今年度創立51周年を迎えた伝統ある学校です。開かれた学校づくり協議会の皆様には登校から児童を見守っていただき、放課後子ども教室では多くの開かれた学校づくり協議会委員や地域・保護者の方にスタッフとして児童を見守っていただいています。また、月1回の図書ボランティアによる読み聞かせ、おやじの会主催の2回の夏休みイベント、PTA主催の竹小まつり、餅つき大会等々、竹の塚小学校児童のために様々な取組をしていただいております。このような家庭・地域の協力で、本校の児童はととても明るく素直に育っています。

竹の塚小学校の伝統を引き継ぎながら、竹の塚小学校の新たな伝統を一つ一つ築いていくことが教職員の務めであると自覚しております。今後も本校の児童のため一丸となって、教育を進めてまいります。

